

企画名：北部広域保健医療福祉施設代表者会議
実施日：平成 26 年 6 月 19 日
講師：紙屋克子(筑波大学名誉教授・名桜大学非常勤講師)
企画実施組織：名桜大学看護実践教育研究センター
<p>企画の目的・概要（企画の目的と概要を正確かつ簡潔に説明して下さい。）</p> <p>高齢者社会を迎えて看護職が果たす役割はますます拡大し、その機能も多様な取り組みが求められており、その能力開発が大学等の高等教育機関に求められている。北部広域保健医療福祉施設の代表者を対象に会議を開催し、各施設から研修報告や業務改善・業務の充実、臨床指導者・臨床スタッフの取り組みについて情報交換・共有し、北部地域の看護の質の向上に向けて支援していくことを目的とした場づくりとする。</p>
企画実施報告(参加人数等を明記)
<p>場所：名桜大学北部生涯学習推進センター(エクステンションセンター)</p> <p>参加者：87 名</p> <p>懇談会次第：18:30 副学長 あいさつ エクステンションセンター長 あいさつ 18:35 平成 26 年度事業計画について 18:50 講演 紙屋克子 先生(筑波大学名誉教授・名桜大学非常勤講師) 20:00 懇談会</p>
企画の実施評価(ケアの質の向上、または大学および地域の貢献)
<p>北部地区医師会の関係者や北部の医療関連施設の看護部長・看護師長などの管理者を含め多くの看護スタッフも参加していただいた。看護実践教育研究センターの活動について平成 25 年度の年次報告書など資料に基いてセンター長から説明がありました。講演では講師の紙屋先生がバイオサイエンスに基く最新の看護技術の成果を報告していただき、多くの看護職に感銘を与えました。また懇談会においては参加者と看護実践教育研究センターの運営委員・紙屋先生との情報交流が行われて明日からのエネルギーをもらうことができました。</p>

